

2025年(令和7年)11月1日



さがみはら市議会だより

No.231

編集・発行：相模原市議会 電話 042 (769) 9803
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

※無断転載・転用はお断りします。

令和6年度の決算を審査しました！

これは一体何の数字??

279
億円

92
万円

1,451
万円

399
万円

2,752
万円

5,752
万円

答えは
令和6年度決算の中に！
詳しい内容は
3面と7面を見て
探してみてね！



令和7年7月16日に市立博物館(中央区高根)の
プラネタリウムがリニューアルオープンしました！
10億個の星々と8K全天周映像が同時に体験できます。



相模原市マスコットキャラクター
さがみん

TOPICS



主な議案の概要
委員会の審査
主な議案の審議結果



代表質問
代表質問・個人質疑と市の答弁を
分かりやすく紹介



一般質問
市政全般に対して行われた質問と市の答弁を
分かりやすく紹介



決算特別委員会分科会の審査
決算に対する討論要旨



特別委員会活動レポート

2

3

4

5

6

7

8

9月定例会議

令和6年度決算を認定 市立児童クラブ条例の一部改正など 29件の議案を可決・認定・同意

9月定例会議では、令和6年度決算に関する議案が提出され、市長の総括や評価、財政指標の分析、各事業の成果などについて、本会議や決算特別委員会で質疑等がなされました。

また、入会の対象児童に係る規定及び育成料に係る規定等の改定をする市立児童クラブ条例の一部改正などの議案が提出され、本会議や関係する常任委員会で質疑等がなされました。

そのほか、議員提出議案として、国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書が提出されました。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

12月定例会議のお知らせ

12月定例会議の予定は、
次のとおりです。
本会議・委員会は、午前
9時30分から開会する
予定です。

11月 12日(水) 議会運営委員会
18日(火) 本会議(提案説明)
27日(木) 本会議(代表質問・個人質疑)
28日(金) 本会議予備日(代表質問・個人質疑)
12月 2日(火) 総務委員会
3日(水) 建設委員会
4日(木) 民生委員会
5日(金) 市民環境経済委員会

12月 8日(月) こども文教委員会
17日(水) 本会議(一般質問)
18日(木) 本会議(一般質問)
19日(金) 本会議(一般質問)
22日(月) 本会議(委員長報告、採決)
(本会議終了後)
議会運営委員会

※会議の日程等は変更になる場合があります。



相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・インスタグラム・フェイスブックでもご覧になります。
本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会 検索



「フォロー」してね!!



「いいね!」してね!!



9月定例会議

主な議案の概要

一般職の勤務条件に関する条例の一部改正

妊娠、出産等の申出をした職員に対し講じる措置の追加

仕事と育児との両立の支援を図るために、妊娠、出産等についての申出をした職員等に対する意向確認等に係る規定の追加を行う。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

部分休業に係る規定の改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う部分休業に係る規定等の改正を行う。

市立児童クラブ条例の一部改正

入会の対象児童に係る規定及び育成料に係る規定の改正

市立児童クラブの入会の対象児童に係る規定の改正や、同クラブの安定的運営の確保を図るために育成料に係る規定等の改正を行う。

工事請負契約

麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業基盤整備工事(その1)

工事の場所：南区麻溝台及び新磯野地内

契約金額：17億4,849万円

契約の相手方：ハギワラ・木本建興・日栄建設・明真共同企業体

令和7年度一般会計補正予算(第3号)

補正額：2,900万円

観光施設整備事業(債務負担行為) 2,900万円

青根緑の休暇村いやしの湯の中規模改修工事について、入札不調により年度内の完了が困難となったことから、来年度に向け経費の物価上昇分を見込み増額する。併せて、繰越明許費(繰越額：5億3,862万円)を設定する。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、様々な視点から審査されました。
主な議案等に関する質疑事項は、次のとおりです。

総務委員会

- ①一般職の勤務条件に関する条例の一部改正
- ②職員の育児休業等に関する条例の一部改正
(①と②は一括審査)
- 現在の育児休業、部分休業の取得状況
- 利用実態や現場の声を改善に繋げていくための考え方
- 部分休業等取得者の増加を想定した十分な人事配置の適正化への考え方
【いずれも賛成総員により可決】

民生委員会

- 令和7年度一般会計補正予算(第4号)所管部分
※質疑事項なし
【賛成総員により可決】

市民環境経済委員会

- 令和7年度一般会計補正予算(第3号)
※観光施設整備事業に関して
- 青根緑の休暇村いやしの湯のリニューアルオープンの時期
 - 2度の入札不調の要因と次回入札への工夫
 - 指定管理料の内訳や休業中の補償費
【賛成総員により可決】

建設委員会

- 工事請負契約(麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業基盤整備工事(その1))
- 整備完了までの具体的な工期
 - 企業誘致に当たっての取組
 - 工事実施に当たり周辺住民や地権者への説明状況
【賛成総員により可決】

こども文教委員会

- 市立児童クラブ条例の一部改正
- 改正による育成料の利用者負担割合と他の指定都市との比較
 - 改定する育成料の根拠及び8月分のみ他の月と区分して引き上げる理由
 - 現在発生している待機児童を解消する取組
【賛成総員により可決】



9月定例会議 主な議案の審議結果

凡例：○…賛成、×…反対 議案に対する討論が行われた場合、賛成討論は賛、反対討論は反を付記しています。

議案番号	議案	自民党	さがみらい党	公明党	立民	日本維新の会	颶爽	無所属議員A	無所属議員B	議決結果
第101号	令和6年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	○	×	認定
102号	令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
103号	令和6年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
105号	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
113号	一般職の勤務条件に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
114号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
115号	市立児童クラブ条例の一部改正	○	○	○	○	○	×	○	×	可決
116号	市立保育所設置条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
121号	工事請負契約(麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業基盤整備工事(その1))	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
125号	令和7年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
126号	令和7年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員提出議案									
第8号	国による義務教育財源の保障及び教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議会内会派の構成

(議員の氏名は50音順、()内は略称)

自由民主党相模原市議団(自民党)	14人
秋本 仁	阿部 善博
折笠 正治	大槻 和弘
中村 昌治	寺田 弘子
務川 慧	大八木 聰
佐藤 尚史	須田 育
西田 悠人	萩生田康治
渡部 俊明	古内 明
今宮ゆうき	榎本 揚助
谷川ヒロシ	鈴木 秀成
森 繁之	三須城太郎
山口 恒	
民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい)	10人
石川 達	今宮ゆうき
関根雅吾郎	榎本 揚助
森 繁之	鈴木 秀成
山口 恒	三須城太郎
公明党相模原市議団(公明党)	8人
後田 博美	岡本 浩三
中村 忠辰	加藤 明徳
南波 秀樹	西家 克己
仁科なつ美	保々富美子
立憲民主党(立民)	5人
臼井 貴彦	大沢 洋子
栗原 大	桜井はるな
仁科なつ美	
日本維新の会相模原市議団(日本維新の会)	3人
岩井 大	こさわ隆宏
五十嵐千代	鈴木 晃地
さとうくらの会(颶爽)	3人
野元 好美	長谷川くみ子
会派に属していない議員(無所属)	
小林たかみち(無所属議員 A)	
羽生田 学(無所属議員 B)	

代表質問

代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容は、議会中継(録画)などをご覧ください。

〈9月2日〉
中村 昌治(自 民 党)
榎本 揚助(さがみらい)
南波 秀樹(公 明 党)

〈9月3日〉
桜井はるな(立 民)
鈴木 晃地(日本維新の会)
長谷川くみ子(颶 爽)
羽生田 学 ※個人質疑

 9月2日
 9月3日

節目の年を迎えた令和6年度 決算の総括と今後の取組は

Q 市制施行70周年を迎えた令和6年度の市政運営の総括は。

市長 3つのテーマ(※1)に特に重点的に取り組むとともに、本市の個性を最大限に生かし、子育て、教育、まちづくりの分野で特徴的な取組や、市民と手を携えながら、魅力ある様々な記念事業を実施してきた。これらの取組により、更なる飛躍と発展を遂げるための礎を築き上げることができた。

Q 法人市民税の增收に向けた、市内企業の活力を高める施策は。

市長 新事業の創出につながるイノベーションの促進等の取組を通じて、市内企業の成長を支援するとともに、今後の成長を見込まれる産業の集積等に努めていく。

Q 増加した投資的経費の内訳と、その経済波及効果への認識は。

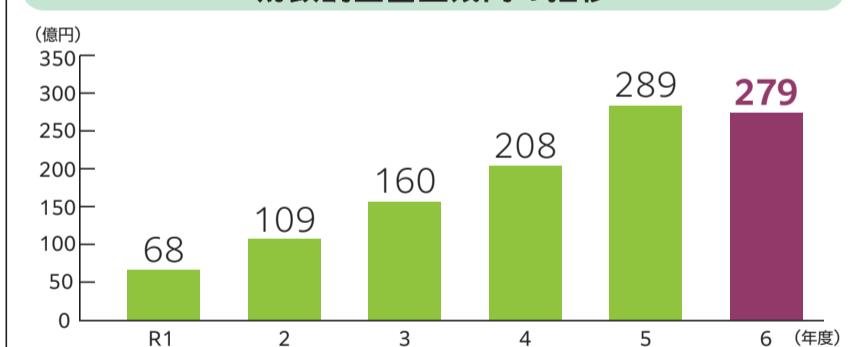
市長 小・中学校校舎の改修や都市計画道路整備、麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業が主なもので、こうした公共事業の増加により、整備そのものによる効果のほか、原材料等の生産増加などの経済波及効果が生まれると認識している。

Q 約279億円まで積み上がった財政調整基金(※2)の活用の考えは。

市長 予期し得ない突発的な財政需要が生じるリスクを考慮し、現時点では本市の標準財政規模の8%相当額を確保した上で、これを上回る額は今後の予算編成において順次活用していく。

財政調整基金残高の推移

※単位未満は四捨五入



学校屋内運動場等の空調設備 早期整備実現に向けた取組は

Q 早期の整備完了を目指すこととした理由は。

市長 近年の猛暑による教育活動への影響は大きく、一刻も早く、子どもたちに暑さの影響を受けずに安心して学んでほしいとの思いから、これまでの直営に加えリース手法による整備も活用し、令和10年夏までの整備完了を目指すこととした。

Q 1校あたりの工事期間と教育活動等への影響は。

教育長 リース手法で整備する小学校は2週間程度、直営で整備する中学校等は3か月程度を想定している。工事期間中は教育活動等への制約が見込まれるが、学校と調整しながら進めていく。



中学校屋内運動場に設置された空調設備

市立児童クラブ条例の一部改正 育成料改定の考え方は

Q 育成料を引き上げる背景と理由は。

市長 育成料の利用負担割合は、国の基準では運営に係る経費の50%とされているが、本市では20年間改定しておらず、現在約35%となっている。入会児童が増加する中、安定的な運営や質の向上を図るために、国の基準割合を念頭に改定することとした。

Q 民間児童クラブの育成料と差が生じていることへの見解は。

市長 民間では習い事や長時間の預かり、送迎など、独自のサービス内容に応じた料金を設定していると認識しており、そうしたサービスを希望する利用者も多いため、市立と民間、それぞれの特徴を活かした児童の居場所確保が必要と考えている。

Q 今後の育成料の見直しの考え方は。

市長 社会経済情勢等を勘案しながら、本市の「受益者負担の在り方の基本方針」に準じて、育成料の見直しの検討を3年ごとに実施し、より安定的な運営を図っていく。



市立児童クラブの様子

麻溝台・新磯野第一整備地区 工事再開で今後の展望は

Q 工事再開に当たっての市長の思いは。

市長 令和4年5月に再開を決定し、工事着手に向け準備を進めてきた。工事を再開できることは感慨深く、改めて大きな責任を実感している。本市の更なる発展に必要な事業であり、一日も早い事業完了を目指し全庁一丸となって進めていく。

Q 第一整備地区全体の供用開始時期の見通しは。

市長 全体の工事完了は令和14年度を見込んでいるが、令和8年度以降、造成工事等が完了した街区から使用収益を開始していく。地権者の皆様にご協力をいただきながら、着実に進めていく。

障害者施策の見直し及び転換 一人一人に寄り添った支援を

Q アンケート(※3)の結果を受け、柔軟な支援が必要では。

市長 対象者(※4)には、コールセンターや相談窓口を案内し、個別の生活状況の把握に努めるとともに、障害福祉サービスの活用だけでは生活が安定しない方には、各相談窓口等が連携して支援方針を検討するなど、寄り添った対応を図っている。

Q 本年度開始を予定している障害者施策の進捗状況は。

市長 アウトリーチ支援強化事業や、通学を対象とした移動支援事業など既に13事業を順次開始し、その他の事業についても、本年度内の実施に向けて準備を進めている。

※1 3つのテーマ

総合計画において、分野横断的に取り組むものとして定める、少子化対策、雇用促進対策、中山間地域対策の3つの重点テーマのこと。

※2 財政調整基金

年度間の財源の不均衡を調整する基金のこと。決算余剰金の一部等を積み立て、収支減少時や突発的な多額の財政需要発生時等、サービス水準を一定に保つために取り崩して用いる。

※3 アンケート

障害者施策の見直し及び転換により影響を受ける人について、生活状況や障害福祉サービスの利用状況等を把握するため、令和6年度に実施したアンケートのこと。

※4 対象者

重度障害者等福祉手当等の対象者のこと。

用
語
解
説

西田 悠人
(自民党)

Q 令和9年3月末閉校の並木小跡施設活用の検討状況は

市長 現在、教育機能としての使途や避難所機能の確保など、活用の方向性をまとめているところであり、本年度中を目途に、地域の皆様と対話を行い、検討を進めていく。

Q 公設民営のアイススケート場整備(※)
運用開始までのスケジュールは

市長 現在、有望候補地を対象に利用団体等に意見を伺うとともに、事業手法や施設規模に関する課題の整理等を行っており、出来る限り早期に整備地や具体的なスケジュールを示していく。

その他の質問 いのちと向き合うための施策など

※アイススケート場整備 設備の老朽化のため令和9年3月に銀河アリーナアイススケート場を廃止することに伴い、市は公設民営のアイススケート場の整備に向けて検討している。

現在貸与している緊急通報システム
(親機とペンダント型子機)

※緊急通報サービス 現在のサービスは、押しボタンで自動的に119番通報できる装置を65歳以上のひとり暮らし高齢者等へ貸与し自宅に設置するもので、固定電話を設置している必要がある。

保々 富美子
(公明党)Q 利用者の不安軽減等を図る
新たな緊急通報サービス(※)導入は

市長 固定電話を利用しない専用装置による通報や、警備会社の職員が対応する等のサービス導入は、事業費が現在に比べ大きく増額することが見込まれるため、課題の整理を進めていく。

Q プラネタリウムの観覧環境の向上
託児サービスを導入する考えは

教育長 今回、親子席等を設置し、子育て世代が安心して観覧できる環境を整備した。託児サービスは本年度、試行的な実施を予定しており、その結果を踏まえ本格導入に向け検討していく。

その他の質問 倒木事故から市民を守る体制／RSウイルスワクチンなど

9月定例会

質

市政全般にわ
ポイントを議案以外
に関する
一般質問相模原市マスコットキャラクター
さがみみ仁科 なつ美
(立民)Q 自閉症児者の兄弟姉妹を支援
現状と支援強化への見解は

市長 きょうだい児(※)が悩みを抱えていることを把握した場合、寄り添った対応をしている。今後、より家族の状況を踏まえた対応に努め、さがみみ(※)等の相談先に繋がれるよう周知していく。

Q 不登校児童等への学習支援
オンライン授業の積極的活用は

教育長 対面支援等が難しい児童生徒にICTを活用した支援は有効と捉えており、AIドリルを活用した支援等に取り組んでいる。今後は、メタバース空間を活用した対策を検討していく。

その他の質問 自閉症児者の感覚過敏への配慮と公共空間の整備など

※きょうだい児 障害のある兄弟姉妹のいる子どものこと。

※さがみみ さがみはら子どもの権利相談室のこと。



相模大野パスポートセンター

務川 慧
(自民党)Q 自動運転による移動サービス
導入に向け実証事業へ参画は

市長 自動運転は、運転士不足の解消やまちの魅力向上にも大きく資する取組であると考えているため、交通事業者等と意見交換を行っており、今後、実証運行に向けた取組を進めていく。

Q 村富相武台線(※)の4車線化
北部と南部地区(※)の進め方は

市長 まちづくりの進歩に合わせ早期の整備が重要と認識しており、道路の拡幅による渋滞の解消や、産業用地としての利便性の向上が図られるよう、地権者組織等とともに取り組んでいく。

その他の質問 当麻地区整備促進事業(後続地区)など

※村富相武台線 都市計画道路村富相武台線のうち、ここでは、麻溝台・新磯野地区整備推進事業区域に面した区間のこと。

※北部と南部地区 麻溝台・新磯野地区整備推進事業のうち、先行して取組を進めている第一整備地区を挟んだ北部地区と南部地区のこと。

岩井 大
(日本維新の会)Q 公園遊具の点検の実施方法と
点検結果の補修等への反映は

市長 都市公園法に基づく点検に加え、指定管理者等による点検を実施している。補修・更新の判断は、規準(※)に則り健全度を4段階で判定するとともに、設置年数も踏まえることとしている。

Q 学校グラウンドの砂ぼこり
周辺住民等から意見や要望は

教育長 強風や、授業などで校庭を使用した際に、砂ぼこりが自宅に舞い込んできた、洗濯物に付着したなどの意見や、校庭に散水してほしいなどの要望をいただくことがある。

その他の質問 市営テニスコート(クレーコート)の整備など

※規準 一般社団法人日本公園施設業協会が策定した「遊具の安全に関する規準」のこと。

折笠 正治
(自民党)Q ゴルフ場(※)敷地に埋設の下水道管
現状と用地取得の考えは

市長 ゴルフ場敷地内に污水幹線と、雨水幹線を各々約900m敷設している。下水道管の管理や狭い道路の解消には用地の取得が必要と考えておらず、地権者との交渉を進めている。

Q 交差点(※)の先にある狭い箇所
大型車両の誤進入への対策は

市長 接続する市道新戸翠ヶ丘に予告看板を設置し注意喚起を行っているが、更なる対策として、看板の増設や交通規制について隣接する座間市や交通管理者と協議を行っていく。

※ゴルフ場 都市計画道路翠ヶ丘線の狭い区間に隣接するゴルフ場のこと。

※交差点 都市計画道路翠ヶ丘線の東海大相模高校前交差点のこと。



やま ぐち ひろし
山口 恒
(さがみみらい)



その他の質問 もえぎ台小学校の跡地利用／南消防署相武台分署の移転など

**Q 最終処分場候補地(※)の地域負担
麻溝地区からの要望へ対応は**

市長 今年5月に検討会議(※)を設置し、次期最終処分場の候補地選定や地域振興策等について検討を進めている。引き続き、麻溝地区をはじめとする地域の皆様と真摯に対話をしていく。

**Q 老朽化が進む学校施設の改修
維持管理体制の強化の考えは**

教育長 適宜、市長部局からの応援職員を配置するなどの対応を図っている。また、工事監理業務の委託化やリース手法の導入など、スピード感を持った対応ができるよう取り組んでいる。



あき もと じん
秋本仁
(自民党)

**Q 生涯スポーツの更なる推進
フィジカルリテラシーの取り入れは**

市長 フィジカルリテラシーは、スポーツに親しむ意欲や資質の基礎となる重要な概念であると認識しており、次期市スポーツ推進計画の策定に向けて、位置づけ等を整理していきたい。

**Q 中学校等の部活動の地域移行
進める中で重要視することは**

市長 部活動として行われてきたスポーツ、文化芸術活動を地域全体で支え、活動の機会を保障し、全ての生徒が安心して希望する活動が継続できるよう取り組むことが重要と捉えている。



その他の質問 市内経済の成長戦略／鳥獣被害対策など

※最終処分場候補地 緑区根小屋2箇所及び南区麻溝台2箇所の計4箇所の候補地のこと。
※検討会議 庁内横断的に取り組むために設置した一般廃棄物処理施設整備検討会議のこと。



うしろ だ ひろ み
後田博美
(公明党)



その他の質問 健康増進の取組／学校図書館への新聞配備など

**Q 国際園芸博覧会(※)終了後の資材
レガシーへと利活用する方針は**

市長 SDGsの達成に貢献するという博覧会の理念に基づき、庭園で使用した資材等を博覧会終了後に有効活用することとしており、資材等の利活用等を見据えた基本設計を進めている。

**Q 渕野辺駅南口周辺まちづくり
プラン(※)策定後の進捗状況は**

市長 6月に実施した民間事業者へのアンケート結果等を踏まえながら、第1ステップの事業手法を決定するとともに、整備スケジュールを見直した中で、実施方針等の作成作業を進めている。

※国際園芸博覧会 2027年国際園芸博覧会(GREENEXPO2027)のこと、令和9年3月19日から9月26日まで、横浜市で開催される。本市は花・緑出展(屋外出展)で参加を予定している。



鹿沼公園のゾーニングの整理図

※プラン 令和7年3月に策定された「次世代に引き継ぐ渕野辺駅南口周辺のまちづくりプラン～鹿沼公園・複合施設整備基本計画～」のこと。



通学路としても利用されている歩道橋



うす い たか ひこ
臼井貴彦
(立 民)



**Q 相模原駅北口地区の基盤整備
連続立体交差化への進め方は**

市長 南北道路等とJR横浜線との連続立体交差化をする場合には、整備手法等について、交通事業者や交通管理者等の関係機関のほか、米軍や防衛省とも協議が必要になると認識している。

**Q 本市の自殺に関する統計
結果に対する見解は**

市長 本市における自殺者は令和5年が129人、6年が132人と3人増加している。引き続き、地域や関係機関等と緊密に連携を図りながら、自殺対策を進めていく必要があると認識している。

その他の質問 下水道行政／遺族の安寧など



いし かわ いたる
石川達
(さがみみらい)



**Q 歩道橋の安全対策の現状と
通学路としての利用数は**

市長 道路法に基づき市が管理する52橋全てを、5年に1回の頻度で目視点検を実施し、平成30年度から令和6年度までに13橋の修繕と1橋の撤去をした。通学路としては29橋が利用されている。

**Q 相模大野駅の列車接近メロディー(※)
小田急相模原駅への導入は**

市長 相模大野駅への導入は、望む声が多く寄せられ、小田急電鉄の協力のもと実現した。小田急相模原駅周辺地域の機運等を踏まえながら、小田急電鉄に働きかけていくものと考える。

その他の質問 宇宙のまち相模原など

※相模大野駅の列車接近メロディー 令和6年9月から相模原出身バンド[Alexandros]の代表曲「ワタリドリ」が流れている。



さ とう ひさ し
佐藤尚史
(自民党)



**Q 市有財産の撮影への使用
定額制導入で事業者の反応は**

市長 金額への意見はなく、手続きが簡略化したことに対する反応が多い。公共施設での撮影件数や使用料収入が昨年と比較して増加していることから、効果が現れていると考えている。

**Q 中山間地域での救急対応策
軽い救急車を導入する考えは**

市長 現在は救急車に積載するストレッチャー等を活用し対応している。今後は、地域住民の更高的な安全安心や早期の医療介入に有効と考えることから、軽救急車の導入を検討していく。

その他の質問 中山間地域における移動手段の確保など



い が ら し ち ょ
五十嵐千代
(颯爽)



その他の質問 南区合同庁舎の在り方検討／公園等遊具の安全管理など

※SOGI(ソジまたはソギ) 性的指向(Sexual Orientation)とジェンダーイデンティティ(Gender Identity)の略語で、全ての人の性の在り方を表すための言葉。

**Q 相模原駅北口地区まちづくり
グローバルな教育機関の誘致は**

市長 国内に限定することなく研究開発企業や教育機関等の誘致に取り組むことで、様々な人や企業が集い交流やにぎわいが創出されるなど、多様な波及効果が期待できると認識している。

**Q 性の多様性に対する理解促進
SOGI(※)の概念浸透へ見解は**

市長 性のあり方は、全ての人に関わることという基本的姿勢が重要と考えており、市のリーフレットにも「SOGI」の記述を加えた。今後も多様な性の在り方の理解促進に努めていく。



おお さか ひで はる
大崎秀治
(公明党)



**Q 交通不便地域の移動手段確保
公共ライドシェア(※)導入の考えは**

市長 バス運転士の確保は全国的な課題と認識している。地域の移動資源を活用した公共ライドシェアの導入等、地域の移動ニーズに応じた様々な取組を検討する必要があると考えている。

**Q 豪雨時の城山ダム緊急放流
実施時に備えた安全対策は**

市長 毎年、県の洪水対応演習に参加し、県との連絡調整や避難指示を発令する手順の確認を行っているほか、各警察署、消防団等と避難方法などの情報共有を図っている。

その他の質問 物価高騰対策／行政窓口のDX推進など

※公共ライドシェア バス・タクシー事業者による移動が困難な地域での輸送や、身体障害者等の外出支援のため、市町村やNPO法人等が自家用車を用いて有償で運送できる制度のこと。

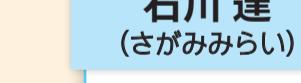


たる、一般質問の
抜き出しました。

の市政全般
質問を
と言うんだよ。



通学路としても利用されている歩道橋



渡部 俊明
(自民党)

Q 農業従事者の不足を補う取組
援農ボランティア(※)の派遣実績は

市長 援農ボランティアの派遣件数と派遣人数は、令和5年度は123件、延べ2,318人、6年度は118件、延べ2,299人である。

Q 自治会等が設置や管理
子どもの広場の位置付けは

市長 子どもたちの健やかな心と体を育む場として、地元自治会など地域団体が自主的に設置、管理運営しているものであり、地域の身近な居場所として有意義なものであると考えている。

その他の質問 道路の維持管理など

※援農ボランティア 農業に興味があり農家の手伝いを希望する市民(援農者)のこと。JA相模原市が主体となり、援農ボランティアの育成と、人手が欲しい農家への紹介に取り組んでいる。



子どもの広場

加藤 明徳
(公明党)

Q 地域医療支援病院(※)への支援
現在の状況と今後の充実は

市長 紹介患者への医療提供に関する事項等を審議するため当該病院が設置している運営委員会に参加している。引き続き、救急医療体制の維持・確保に向け、状況の把握に努めていく。

Q アピアランスケア(※)施策の充実
がん以外への助成対象拡大は

市長 現在の助成制度は、国の「がん対策推進基本計画」を基に実施している。がん以外の要因で外見の変化が生じた方を対象とすることは、範囲や審査方法、財源確保等の課題がある。

その他の質問 児童・生徒のデジタル機器の長時間使用と影響など

※地域医療支援病院 かかりつけ医を支援し、医療機器の共同利用や救急医療体制の確保等、地域医療の中心的な役割を担う病院のこと。

※アピアランスケア がん治療により外見に変化が生じた方に対し、社会生活を送る上でのつらさや不安を軽減し、その人がその人らしく過ごせるよう、社会とのつながりをサポートすること。

森 繁之
(さがみみらい)

Q 福祉・教育分野の市民サービス
国に財政措置を求める考えは

市長 子どもの医療費助成や学校給食費の無償化等は、国の責任と財源で全国一律に実施するものと考える。一方で、本市の強みを生かした施策を推進し、その財源も国へ要望していく。

Q 生活保護受給者への支援
自立に向けた取組の強化策は

市長 職歴や希望等を踏まえ、ハローワーク等と連携し仕事探しの支援を進めている。また、毎月提出を求めている求職活動状況報告を確認し、就労意欲の喚起に向けた助言を行っている。

その他の質問 地域包括ケアシステムの現状と課題／子ども会とPTAなど

詳しい内容については、
市議会ホームページや
議会中継(録画)をご覧ください。



各議員の
氏名の下から
一般質問の録画
映像にアクセス
できます。

陳情の審議結果

採 択

▷国による義務教育財源の保障、教育の機会均等と水準の維持・向上、並びにゆきとどいた教育の実現を求ることについて(第19号)

不 採 択

▷不妊治療に対する助成制度の創設に関することについて(第17号)

9月定例会議

栗原 大
(立 民)

その他の質問 旧鳥屋小学校における施設利用及び借地利用交渉の進展

※要望 令和7年4月に「リニア中央新幹線関東車両基地回送線旅客線化を求める市民協議会」が自由民主党幹事長へ要望書を提出したもの。面会の際に市長も同行した。

Q 小倉・葉山島地区の生活排水
下水道整備等推進への見解は

市長 当該地区では下水道を整備するまでの間、単独処理浄化槽などから合併処理浄化槽への転換を進めている。基本計画(※)も踏まえつつ、更なる生活排水処理率の向上に取り組んでいく。

Q 合併処理浄化槽への転換(※)推進
費用負担軽減等への支援策は

市長 転換する際の補助制度を設けているが、利用は少ない状況である。早期転換と適切な維持管理を進めるためには、より地域の実情に即した取組を行っていく必要があると考えている。

その他の質問 自治会法人化／路上の落ち葉対策と排水性の確保



合併処理浄化槽への転換が完了した様子

寺田 弘子
(自民党)

Q ケアラーの生活を犠牲にしない
介護環境の実現への見解は

市長 ヤングケアラー等、生活上の課題を抱える家族介護者等への対策は重要と考えており、計画(※)において課題を抱える世帯への支援充実や負担軽減のための支援が必要と位置づけている。

Q 米国や中国において加速する
宇宙産業をめぐる国の動向は

市長 宇宙関連産業を日本経済の成長産業とするため、衛星や宇宙科学・探査、宇宙輸送の分野で技術開発を推進し、国内市場規模を2030年代早期に約8兆円に拡大する計画と承知している。

その他の質問 喫煙所／木もれびの森／教育行政など

※計画 第9期相模原市高齢者保健福祉計画のこと。

▷「はり・きゅう・マッサージ施術料助成制度」の廃止に関することについて(第18号)

▷相模原市役所周辺駐車場料金の無料時間に関することについて(第20号)

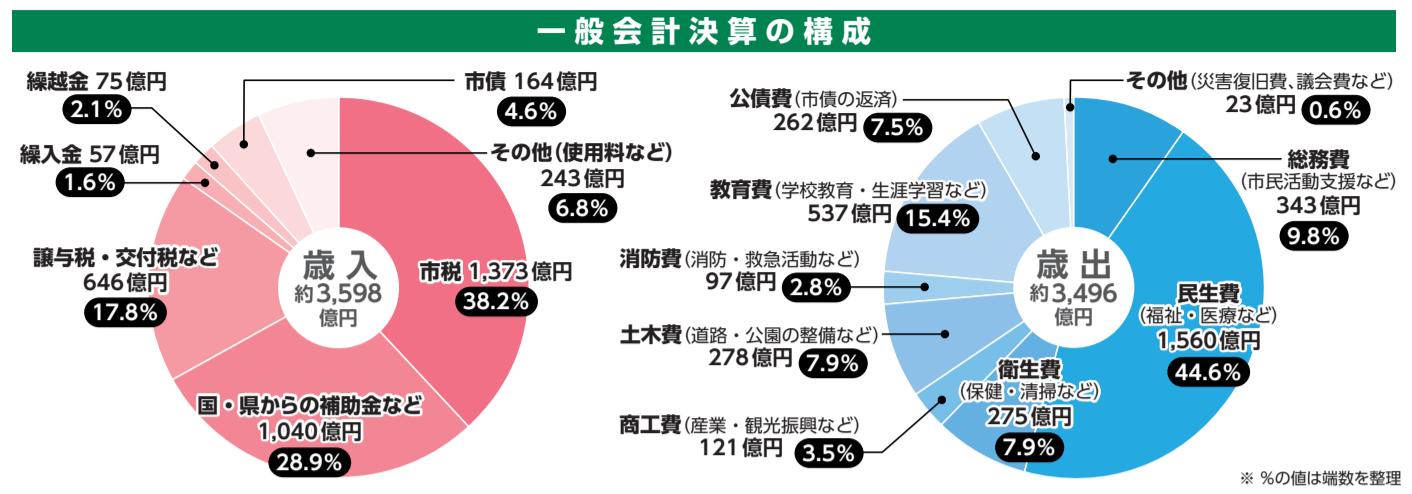
▷公共施設内の労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求ることについて(第21号)

▷「こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)」にかかることについて(第22号)

▷相模原市民ホールの利用延長に関することについて(第23号)

▷相模原市民ホールの利用延長に関することについて(第24号)

▷相模原市民ホールの利用延長に関することについて(第25号)



決算特別委員会の審査

令和6年度の予算が適正に使われたかどうかを審査するため、9月3日に全議員による決算特別委員会が設置され、委員長に古内明議員、副委員長に関根雅吾郎議員が選出されました。決算特別委員会に付託された決算に関する議案は、5つの分科会で詳細に審査されました。主なチェック事項は次のとおりです。

総務 ハラスメント対策事業費 決算額 92万円

事業概要 ▶ ハラスメントに関する分野において参与から助言を受けるとともに、市職員を対象とした外部専門相談員によるハラスメント電話相談を実施した。

- 外部相談窓口の相談内容への対応は。
- 市役所内でのカスタマーハラスメントに対する取組は。

民生 認知症総合対策事業費 決算額 2,752万円

事業概要 ▶ 認知症疾患医療センターで専門医療相談、鑑別診断等を実施したほか、認知症センターの養成等、認知症に係る総合的な事業を推進した。また、若年性認知症に係る相談窓口を新たに設置した。

- 認知症センター養成講座の実施状況と目標としている養成者数は。
- 若年性認知症相談窓口を新たに開設した背景や課題は。

市民環境経済 再生可能エネルギー等利用設備設置促進事業 決算額 1,451万円

事業概要 ▶ 「第2次相模原市地球温暖化対策計画(改定版)～さがみはら脱炭素ロードマップ2050～」に基づき、公共施設へ太陽光発電設備等を設置した。

- 執行率が10%程度にとどまった理由は。
- 導入による効果と、設置に当たっての課題や進め方は。

建設 民間住宅施策推進事業 決算額 5,752万円

事業概要 ▶ 高齢者向けの住まいに関する相談会の開催や子育て世帯等の中古住宅の取得・改修に対する補助のほか、若い世代の本市への移住・定住を促進するため、新婚世帯の引っ越しに対する補助などを実施した。

- 具体的な施策の内容や補助対象となる条件は。
- 結婚新生活・移住定住支援事業の利用拡大へ向けた取組は。

こども文教 地域子育て支援活動促進事業 決算額 399万円

事業概要 ▶ 地域の子育て支援活動の推進のための支援を行い、地域の育児力の向上を図った。また、社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため、市内事業所等が子育て応援に取り組みやすい仕組みを整備する「子育て応援パスポート事業」を開始した。

- 賛同していただける企業を募集する際の工夫は。
- 登録に当たっての審査方法や承認の状況は。

決算に対する討論要旨

反対討論 堀 翔

- 行財政構造改革プラン廃止後の新規事業と厳しく査定された既存事業とで、不均衡が生じている。整合性に欠く意思決定は市民の不信や判断を招く。軌道修正を要請する。
- 橋本駅南口、相模原駅北口のまちづくりは車優先ではなく、コンセプトの脱炭素と手法、将来像を一致させ魅力ある未来都市づくりを求める。

賛成討論 日本維新の会

- 単年度収支の黒字転換や実質収支比率の回復などの変化は、財源の安定性の回復と、将来に向けた計画的な投資を再開し令和7年度以降も発展させていくことを期待できる内容と捉えている。
- 学校施設整備への資本投資の増加は、未来の人的資本形成に向けた基盤整備を優先した姿勢を示すものとして評価する。

反対討論 無所属議員B

- 市民との信頼関係を損なう結果となった行財政構造改革プランの下で行われた公共施設や条例の廃止は、撤回すべきである。
- 誰一人取り残さないという理想を掲げるのであれば、それを実感できる取組や、市営の病院やバス等、市民サービスの充実を望む。

賛成討論 立 民

- 事業所税の減少が気になるが、都市間競争力強化等のためには増やすべき税目であり、STEP50見直しの際は企業誘致策や産業支援策の再構築の視点での取組を求める。
- 下水道事業の経費回収率は初めて100%を下回り、使用料で事業が賄えない状況となった。支出スキームの見直し等により経費を確保し、管渠の着実な維持保全を要望する。

詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください。



賛成討論 公明党

- 基金残高は534億円となり、特に財政調整基金は予期せぬ財政需要に備えつつ、積極的な活用も視野に入れた運用を求める。
- 法人市民税の増加傾向は、市内企業の活力が維持されていることを示しており、今後も産業集積の促進やイノベーション支援の継続を強く要望する。
- 物価高騰に対し多岐にわたる支援策を実施したことは、市民生活の安定と地域経済に大きく寄与したものと評価する。

賛成討論 さがみらい

- 各種財政指標等から本市の財政健全化が確認でき、高く評価する。市民税は実質3.1%増収と堅調であり、非課税世帯に対する給付等の対策は当然に行なうことを前提に、税負担者が効果を得られる減税を要望する。
- 市債については、実質公債費比率が2.9%と指定都市中で特に低くなっている。インフラの老朽化対策や暑さ対策の空調整備等、50年後の市民が安心して住み続けられるまちづくりへ、市債の積極的な活用を求める。

賛成討論 自民党

- 財政健全化を測る各指標は健全化基準を大幅に下回っており評価する。引き続き必要な分野への投資と、市民の満足度が高まる市政の実現に向けた取組を求める。
- 実質的な市税収入は増となつたが、比率の低い法人市民税を伸びしろと捉え、事業系誘致の取組を求める。市債は重要な投資手段であり、積極的に活用すべきである。
- 将来の市民利益に繋がる投資的経費の増加を評価し、来年度予算の更新なる確保に期待する。維持補修費は市民に危険が生じないよう必要な経費の確保を求める。



SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和6年度特別委員会
活動レポート

特別委員会 とは

特定の問題を調査研究するために設置された委員会だよ。

現在、5つの特別委員会があるけど、今回は次の2つの委員会について、令和6年度の活動の一部を紹介するよ。

1 新たなまちづくりに関する特別委員会

リニア中央新幹線神奈川県駅設置に伴う橋本駅及び相模原駅周辺など、未来志向のまちづくりと経済政策に関する調査研究について

2 防災・減災の推進に関する特別委員会

防災及び市民の減災意識の醸成に向けた調査研究について

新たなまちづくりに関する特別委員会

官民連携による交通まちづくりの取組や 中心市街地の活性化の取組を視察

令和7年1月15・16日 石川県金沢市、富山県富山市

金沢市では、便利・自由・快適に移動できるまちづくりを進めるため、市や交通事業者等により設立した「金沢MaaSコンソーシアム」について、富山市では、「中心市街地活性化基本計画」に位置付けられている、既存ストックを活用した市民が主役となる賑わい再生への取組等について、調査研究を行いました。

本市のまちづくりに関する施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



金沢市の視察の様子



富山市の視察の様子

防災・減災の推進に関する特別委員会

市民の防災意識等の向上に向けた取組や 避難所受付のDX化実証実験を視察

令和7年1月23・24日 京都府福知山市・兵庫県三田市

福知山市では、市民の避難行動に繋げるための情報発信の在り方や要配慮者の避難支援等の取組及び市民防災研修機能も備えた消防防災センターの役割について、三田市では、避難所開設時における避難者・職員の事務手続き等の負担を減らす避難所運営システムの実証実験について、調査研究を行いました。

本市の防災に関する施策の審査等を行うに当たって、参考にしていきます。



福知山市の視察の様子



三田市の視察の様子

町田市議会議員と議員交流会を開催しました

10月6日に、相模原、町田両市の議員による議員交流会が開催され、町田GIONスタジアムとFC町田ゼルビアクラブハウスの見学や、議員相互の情報交換とともに、活発な意見交換が行われました。

相模原市議会と町田市議会は、政策形成の調査研究や人材育成の教育研修を目的とした包括連携協定を平成28年2月に締結しています。

両市の人口を合わせると約115万人となり、更なる発展が期待される中、より一層の連携を図っていきます。



町田GIONスタジアム



FC町田ゼルビアクラブハウス

さがみはらジュニアハイスクール議会2025の開催に協力

相模原青年会議所主催による「さがみはらジュニアハイスクール議会2025」が延べ3日間開催され、市や市教育委員会とともに、市議会も協力しました。

参加した20人の中学生議員は、3つの委員会に分かれ、7月23日と28日の2日間にわたりて相模原市の将来について議論し、政策提言に向けて準備を進めてきました。

8月8日には議場で、委員会ごとに中学生議員が市の課題等について質疑を行った後、各委員会からの市への政策提言を議題とし、中学生議員による採決の結果、3つの政策提言の全てが賛成総員により可決されました。

参加した相模原市の次世代を担う中学生の、市政や市議会に対する関心が高まるることを願っています。



さがみはらLOVE フォトギャラリー 「静寂」

(撮影場所: 緑区中野
相模原赤十字病院より)

緑区 小山 國男さん
手術の為に入院でしたが、丁度退院の日に雨上がりの朝靄に出会い感動して、思わずガラ携んで写しました。



フォトギャラリーの写真を募集しています!
市内のお気に入りの風景等を紹介ください。ご応募をお待ちしています!

(オンラインからの場合)

右のQRコードの入力フォームに必要事項を入力し、写真データを添付して応募

(郵送の場合)

住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、プリントした写真とあわせて郵送

【郵送先】〒252-5277 中央区中央2-11-15 相模原市議会議会局政策調査課あて

●応募者本人が相模原市内で撮影した写真で、他のコンテスト等への応募をしていないものに限りません。

●生成AIによる生成画像、画像編集アプリによる合成や加工した作品は、応募できません。

●応募作品での肖像権、登録商標の無断転用、著作権等に関するトラブルには、相模原市議会は一切の責任を負いません。

●採用作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ、SNS等の議会広報事業に使用できるものとします。

●応募に係る費用(通信料、郵送料等)は応募者の負担となります。 ●応募作品の返却はいたしません。

●採用作品を掲載する際、応募者の氏名を公表します。 ●採用された方には、連絡を差し上げます。

●応募者の個人情報は、「さがみはらLOVE フォトギャラリー」に関する情報のご案内のみに使用します。

●ご不明な点は、相模原市議会議会局政策調査課(電話042-769-9803)までお問合せください。

●応募方法、注意事項については、予告なしに変更する場合があります。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。
ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)までお申し込みください。

※この市議会だよりは14万700部作成し、1部当たりの単価は11.33円です。

また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。

相模原市議会 Q検索

ホームページ

